

さいたま市立病院中期経営計画の達成状況（R5 年度）に対する評価結果

1. 評価組織：さいたま市立病院経営評価委員会

役 職	職 名	氏 名
委 員 長	一般社団法人浦和医師会会長	桐 澤 重 彦
副委員長	早稲田大学人間科学学術院教授	松 原 由 美
委 員	平塚市病院事業管理者	石 原 淳
	さいたま市自治会連合会副会長 ※R6. 8. 20 付で退任	石 井 孝 一
	さいたま市自治会連合会副会長 ※R6. 9. 20 付で就任	日 向 野 栄
	川口市病院事業管理者 ※R6. 5. 31 付で退任	大 塚 正 彦
	公益社団法人埼玉県看護協会会長 ※R6. 7. 1 付で就任	澤 登 智 子
	株式会社ウォームハーツ代表取締役	長面川 さより

2. 年度評価

令和5年度における「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況」について以下のとおり評価する。

年 度 評 価	
評価結果	令和5年度は大きな赤字となった。公立病院だからといって赤字でもいいということはない。赤字解消に向けては一つ一つの経費節減の取組は欠かせない。経営改善を行うには、末端の職員まで含めて、コスト意識を持つよう職員の意識改革を行っていかなければならない。 市立病院の経営状況は、前年度と比較し収益が約 18 億円の減、費用は 19 億円の増、令和5年度は約 31 億円の赤字となるなど、大変厳しい状況である。このような状況の中で、当院に求められていることは何なのか、為すべきことは何なのかをもう一度検討し、頑張っていくしかない。 公立病院の置かれている立場は非常難しい。これだけの赤字がいいとは言えないが、赤字を作らないようにするというのは難しい。できるところは節約し、職員を定着させるために組織マネジメントをしっかりとっていくことが必要。 経営改善のために数値目標だけを追うのではなく、そもそもどういう機能をこの地域で発揮したいのか、目的の共有をしっかりと行い、具体的な目標について検討することが重要。

3. 各項目に対する評価【参考】

令和5年度の病院の取組目標である各項目に対する評価については、病院評価の評価基準に基づき順調、おおむね順調と評価した。

しかしながら、令和5年度決算については、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の縮小等により、経常収益が減少した一方、人件費の上昇や物価やエネルギー価格の高騰により経常費用が増加し、中期経営計画における経常損益の見込みを大幅に下回る経常損失 28.4 億円を計上したところであり、中期経営計画の見込みとの乖離の要因を分析し、経営改善を図る必要がある。

なお、(2) 健全な経営基盤の確立②収益確保に向けた取組及び③費用縮減に関する取組について、評価委員会として意見を付して評価する。

項 目 評 価		委員会 評価	(参考) 病院評価
(1) 「地域完結型医療の要」として、地域医療における中核的な役割			
① 地域の基幹病院として地域住民から求められる医療機能の提供		順調	順調
主な取組	・ 新病院建設事業の円滑な推進 ・ 急性期病院としての機能強化と充実 ・ がん診療の機能強化と充実		
② 市が運営する唯一の公立病院として政策医療や災害医療の提供		おおむね 順調	おおむね 順調
主な取組	・ 周産期母子医療センターとしての機能維持と強化 ・ 救急医療体制の充実 ・ 災害拠点病院としての体制整備 ・ 感染管理に関する取組の推進		
③ 病診連携の強化		おおむね 順調	おおむね 順調
主な取組	・ 地域医療支援病院としての地域連携 ・ 産科セミオープンシステムの充実 ・ 病診連携の取組推進		
④ 安全・安心で質の高い医療の提供		順調	順調
主な取組	・ 病院機能評価の認定維持 ・ チーム医療の推進 ・ 医療安全に関する取組の更なる強化 ・ クリニカルインディケーターの作成・公表・活用		
⑤ 利用者サービスの向上		順調	順調
主な取組	・ 患者満足度の向上 ・ 院外への情報発信		

(2) 健全な経営基盤の確立			
① 業務改善に関する取組		順調	順調
主な取組	・ 院内情報システムの更新 ・ SPD による物品の適正管理 ・ QC 活動の実施		
② 収益確保に向けた取組		おおむね 順調※	おおむね 順調
主な取組	・ 医業収益の拡大 ・ 医業未収金の削減		
※委員会意見	取組に対しては、「おおむね順調」と評価する。ただし、当院の経営状況を踏まえ、以下の意見を付するものとする。 ・ 入院の長期化により入院単価の目標を達成できていないということだが、入院の長期化の傾向は今後も変わらないものとする。対策を考えるべきである。 ・ 外来延患者数が増えているが、再診患者だけが増えていくと、収益の拡大には繋がらないため、外来患者数を増やす方向で行くのであれば、目標を初診患者数や紹介患者数にすべきである。		
③ 費用縮減に関する取組		順調※	順調
主な取組	・ 材料費の縮減 ・ 医療機器等調達費用の縮減 ・ 経費縮減の取組		
※委員会意見	取組に対しては、「順調」と評価する。ただし、当院の経営状況を踏まえ、以下の意見を付するものとする。 ・ 最低賃金の上昇に伴い、人件費や委託費が高騰している。赤字解消に向けては一つ一つの経費節減の取組は欠かせない。経営改善を行うには、末端の職員まで含めて、コスト意識を持つよう職員の意識改革が必要である。 ・ 材料費や経費も数十億円という規模で、価格交渉しコストダウンが出来ればかなりの金額になる。これは上に立つ人がきちんと指示すべきである。		
④ 経営管理体制の整備		順調	順調
主な取組	・ 経営形態見直しに向けた取組 ・ 職員の意識向上		
⑤ 職員の確保・人材育成と職場環境の整備		順調	順調
主な取組	・ 職員採用に向けた取組 ・ 人材の育成 ・ 働きがいのある職場づくり		

※評価指標 4 項目：順調、おおむね順調、やや遅れている、遅れている